



2026/9/30

10月号



品川区立第三日野小学校

校長 隈部 洋子

五感

校長 隈部 洋子

今年はずいぶん雨の日が多いな、と思っていたら、先日ニュースでもう30日以上連続で雨が観測されている、と伝えていました。雨の日は、外で思い切り遊べず、有り余った子どもたちのエネルギーを発散できません。そんな日は、読書や室内遊びで静かに過ごしましょう、と言われても、このようにずっと雨の日が続くと、気持ちも晴れません。はやく、青く晴れ渡る秋空を見上げたい、と願わずにはいられません。

先日、全校朝会で人の「五感」の話をしました。「視覚」の話の中で、私が教員になる前に知り合った全盲の小学生の話をしました。いつもより長めの話でしたが、子どもたちは真剣に話を聞いてくれていました。(詳しい内容はお子さんに尋ねてみてください)ここでは、「聴覚」の話をします。

私は現在、補聴器を使用しています。5月ごろの全校朝会で子どもたちにも話をしたのですが、子どものころから聞こえづらさがありました。そして10年ほど前から急激に聴力が落ち始め、補聴器を使用することとなりました。最近の補聴器は、聞こえない音域だけ補強できるようにしたり、音量をスマートフォンで調節したりできるようで、その性能のよさに驚きました。10年以上聞けていなかった、秋の虫たちの声、鳥の声、風鈴の音、そんなものの音が、補聴器によってよみがえり、使用し始めたころ、とても感動したのを覚えています。それでも完全ではなく、いろいろな音がしている中で人の話を聞き分けたり、小さな声を聴きとったりすることには難しさを感じます。困難はありながらも、こうして音が拾えることのありがたさは、失う前には感じたこともありませんでした。

変わったことはまだありました。音が聞き取れない分、話す相手の表情をよく見たり、口元の動きを確認したりするようになりました。(コロナ禍はマスクで見えず苦労しました)相手の表情をよく見るようになって、相手の気持ちや思いが伝わって、寄り添えることも増えました。(以前の自分では考えられないことです。)このように、失ったものもあるかわりに、気付いたこと、できるようになったこともあったのです。

先ほどお伝えした全校朝会での話の中でも、目が見えないその小学生には、わたしにはない素晴らしい能力があったこと、教えられることも多かったことを話しました。そのうえで、子どもたちに「こうしてほしい、こう考えてほしい」という話はしませんでした。一人一人が話を受け止めて、「いろんな人がいて、いろんな感じ方があるのだな」ということが伝わるといいな、と願っています。

※補聴器の使用状況はあくまでも一個人の感想です。

◇10月の行事予定◇

◎生活目標 : 整理・整とんをきちんとしましょう
○あいさつ目標 : 元気よくあいさつをしよう



1	木	都民の日	17	土	
2	金	前期終業式 安全指導日 1年朝顔つるリースづくり	18	日	
3	土		19	月	クラブ⑤ ★
4	日		20	火	児童集会
5	月	後期始業式 委員会⑤ チャレジャン週間始★	21	水	租税教室(6) 3・4時間目 未来塾(2・3・4)
6	火	避難訓練	22	木	★
7	水	全学年4時間授業	23	金	茶道教室(4) チャレジャン週間終 未来塾(1・5・6)
8	木	社会科見学(4) いじめDアンケート実施 歯磨き指導(1・3・5) ★	24	土	土曜授業日 学校公開 水道キャラバン(4) 探究学習発表会(6) 学校説明会
9	金	生活科校外学習(1) いじめDアンケート実施	25	日	
10	土		26	月	寺子屋 ★
11	日		27	火	セーフティ教室(3・4・5・6)
12	月	スポーツの日	28	水	
13	火	いじめDアンケート実施	29	木	全学年5時間授業 ★
14	水	未来塾(2・3・4) ★	30	金	未来塾(1・5・6)
15	木	★	31	土	
16	金	茶道教室(3) 未来塾(1・5・6)	※★は、スクールカウンセラーの来校日です。		

『あゆみについて』

教務主任

10月2日(金)、本年度の前期が終了します。当日は、児童一人ひとりに「あゆみ」(通知表)をお渡しします。「あゆみ」には、前期90日間の学校生活における学習の記録や評価が記載されています。この半年間、子どもたちは日々の学習や友達との関わりを通して、それぞれにできることを増やし、成長してきました。「あゆみ」をご覧になる際には、結果だけでなく、そこに至るまでの努力や取組にも目を向け、お子さんの頑張りを認めていただければと思います。また、今後さらに力を伸ばしていきたい点についても前向きに受け止め、後期の目標につなげていただければ幸いです。

なお、本年度より、担任からの所見については9月の個人面談でお伝えすることに代え、「あゆみ」への記載は後期の1回のみとしております。また、担任印、校長印、保護者印ならびに「家庭から学校へ」の欄についても割愛しております。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

『後片付けをしっかりとしましょう』

生活指導部

普段の学校生活では、様々なものを使います。えんぴつ、消しゴム、定規、教科書、ノートなどなど…。また、図工で使う絵具や筆、音楽で使う楽器なども使うことがあります。

自分が使うものについては、どこに何があるか分かりやすく、使うときに取り出しやすい片付け方ができると、物を無くさなくなったり、長く大事に使ったりすることに繋がります。学級文庫や掃除用具、遊び道具など、皆が使うものについては、きれいに後片付けできると、次に使う人が気持ちよく使えます。

自分が使いやすくなるようにしたり、皆が気持ちよく使ったりするためにも、意識して後片付けをしっかりとできるように指導しています。

『夏休み作品展』

教務部

夏休みが終わると、時間をかけて仕上げてきた自由研究作品を子どもたちが誇らしそうに持ってきました。

力作がところせましと教室前の廊下に飾られると、校内は夏の思い出一色に。

各クラスを巡る子どもたちは目を輝かせて、「すごい」「本物みたい。」と言いながら鑑賞していました。作品は手を触れずに鑑賞するのがマナーですが、昨年度から「読んでほしい」という作品には、作品カードに自分でシールを貼ることにしました。保護者の皆様にも分かりやすいと好評の様子でした。